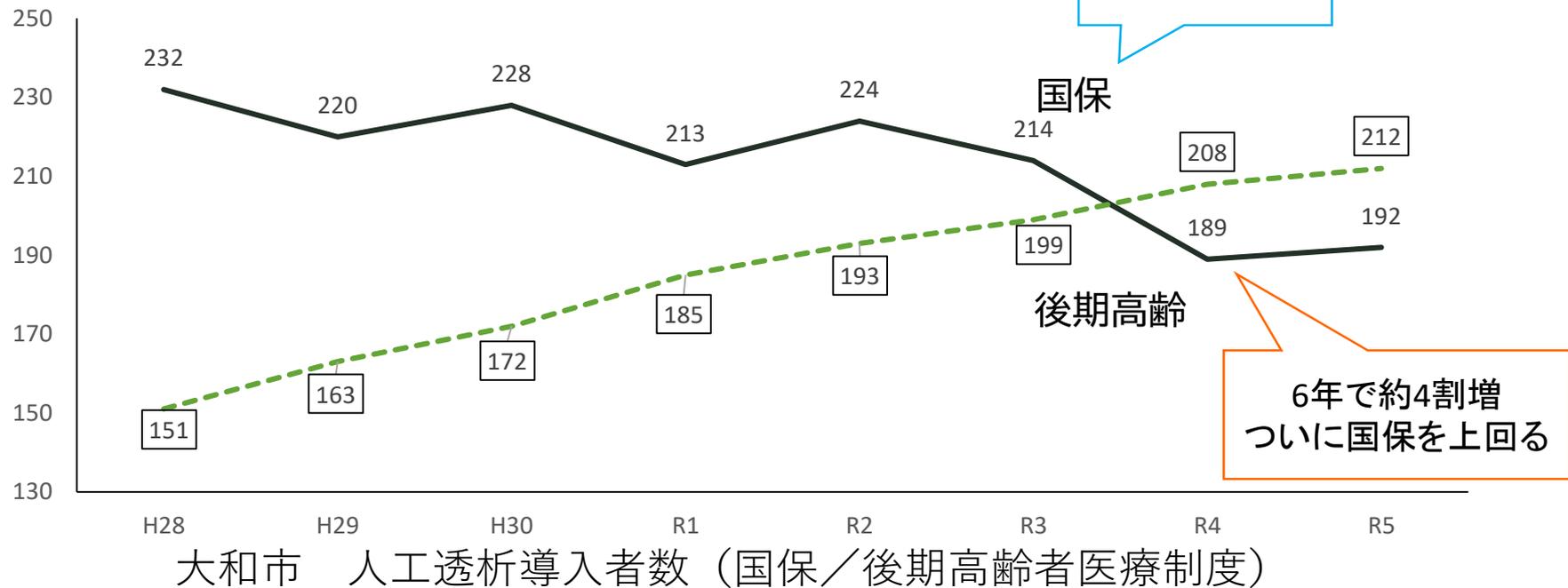


(3) 糖尿病性腎症重症化予防の取組み (H25～開始)

背景

人工透析レセプト状況



- ・ 市全体の人工透析者は年々微増 (H29年～R5年の7年間で約1割増加)
- ・ 人工透析導入者数の内訳をみると、**国保の導入者数は減少傾向**の一方で、**後期高齢は増加傾向**にあり、ついに**後期高齢が国保の人数を上回った**
→人口の推移と同様の傾向だが、人工透析導入平均年齢の上昇も要因の一つ

▶ **医療費適正化に向け保険区分にとらわれない腎症対策が必要**

目的

- ① 市健診で高血糖かつ腎機能低下に該当する市民（国保＋後期高齢）に対し、**栄養相談**を行い、**重症化を防ぐ**。
- ② **人工透析の新規導入者を減らし**、**社会保障費の削減を目指す**。

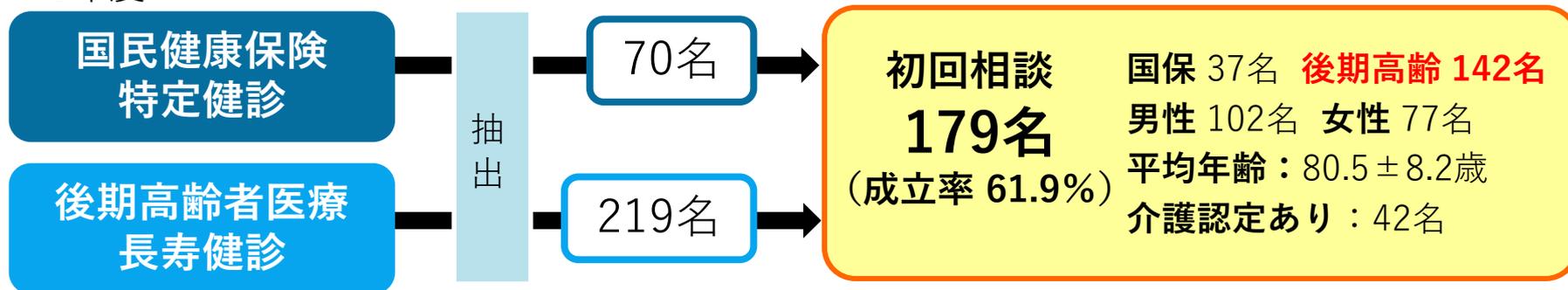
方法

管理栄養士による訪問または電話による栄養相談を実施（6か月3回程度）

R6対象者

抽出条件：**高血糖（HbA1c7.0%以上）**
かつ腎機能低下（eGFR45未満 または 尿蛋白＋以上）

R5年度



	栄養診断(P)	要因(E)	(人)	支援内容
食事内容	摂取過剰	間食過多、主食・糖質過多、塩分過多、飲酒過多、主菜過多、揚げ物、果物、夜食、就寝前の間食	108	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーコントロール ・減塩指導 ・十分な水分摂取 ・食事バランスの是正 ・たんぱく質適正摂取指導
	摂取不足	食物繊維摂取不足、水分摂取不足、欠食や朝食の食欲不振、主菜なし、義歯が合わず繊維質なものが食べられない	71	
	偏った食事	主食のみ、主食の食べ重ね、主食無し、咀嚼困難にて柔らかい食事、強い嗜好	31	
生活・習慣	活動量不足	運動器の疼痛、歩行困難、日中座位傾向、運動が苦手、外出習慣無し、入院、夏季の猛暑により外出を控えた	79	<ul style="list-style-type: none"> ・他者との交流や暑い日でも利用可能な市の地域資源(サロン・施設)の活用を案内 ・食欲が無い時の食べ方指導 ・実施可能な運動・活動の提案 ・エネルギー消費量増加のための提案
	不規則な食習慣	1日2食以下、頻回食、昼夜逆転の生活、夜遅い食事、食事時間がバラバラ	12	
服薬病識	病識不足	無関心、知識不足、数値認識なし、人任せ	15	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の指示内容確認 ・服薬再開(かかりつけ医、歯科) ・受診勧奨 ・病態/検診結果の説明 ・体重管理
	服薬コンプライアンス不良	服薬自己中断、服薬忘れ、認知機能低下	3	
	その他	歯周病、高血糖未治療、治療中断、血糖コントロール不良、ストレス、入院、下痢、食事用意の負担、医療費、経済的に不安定、過体重、身内の死、諦め	27	
特になし(コントロール良好)	血糖管理・腎機能良好・体重維持	規則正しい食事、正しい知識による食事管理、食事療法の順守、定期的な運動習慣、家族のサポート、間食中止	63	・現状維持、見守り

結果1

血糖や腎機能は約8割が維持・改善できた

(新規透析導入者は0名)

※介入者のうち、R6健診受診者の評価

<血糖>

HbA1c

77.3%



※介入者179名中、R6健診受診者141名のHbA1c評価 HbA1c \pm 0.5%未満:維持 (受診率78.8%)

<腎機能>

eGFR
区分

91.2%



※介入時eGFR45未満の者88名中、R6健診受診者68名の評価 腎機能ステージ分類を評価

尿蛋白

90.4%

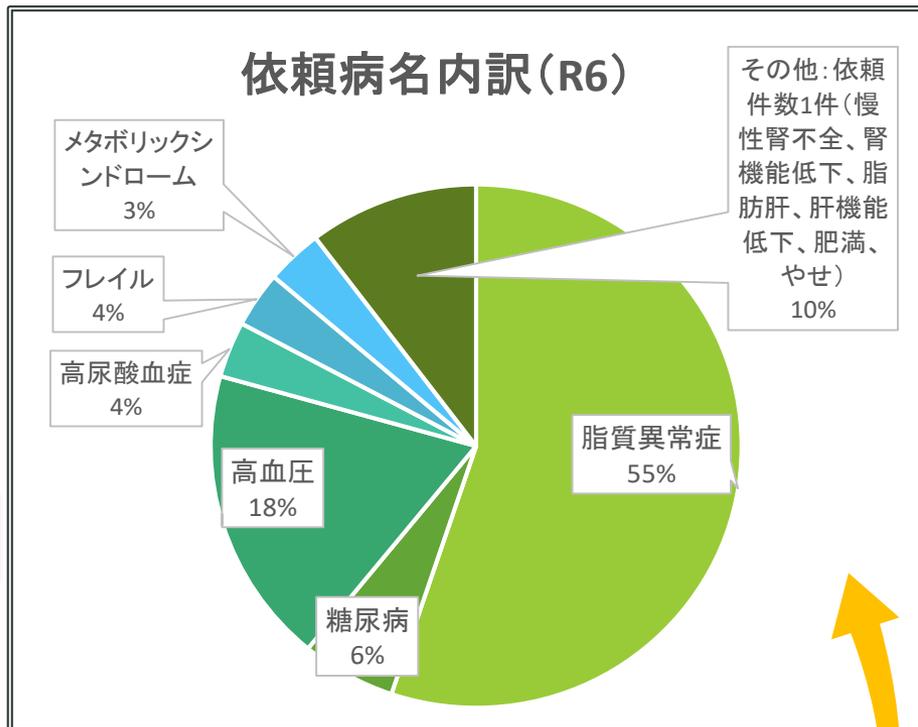
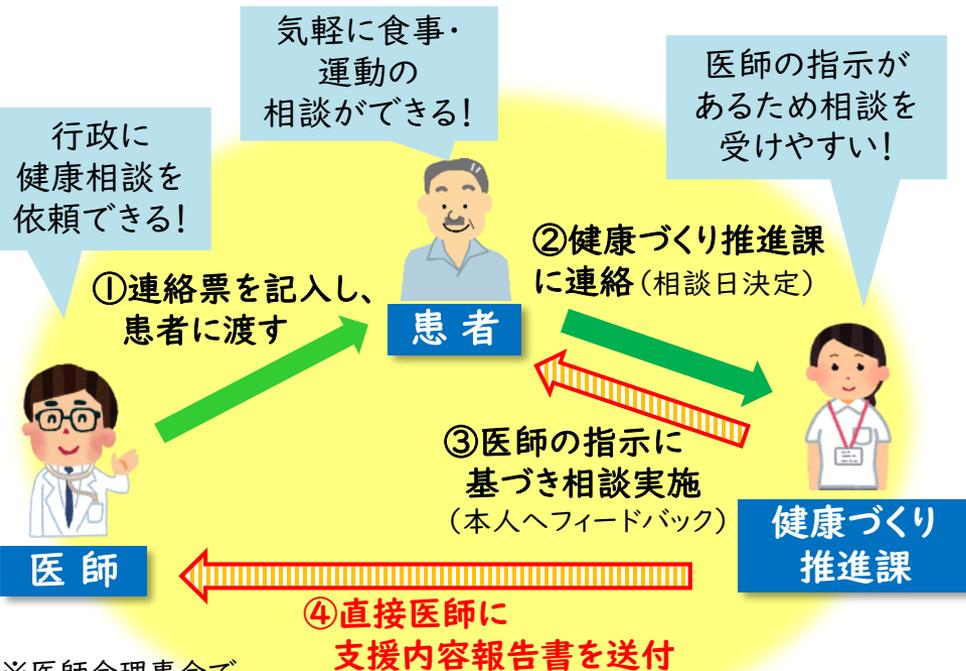


※介入時尿蛋白+以上の者118名中、R6健診受診者94名の評価

健康相談連絡票について(かかりつけ医との連携)

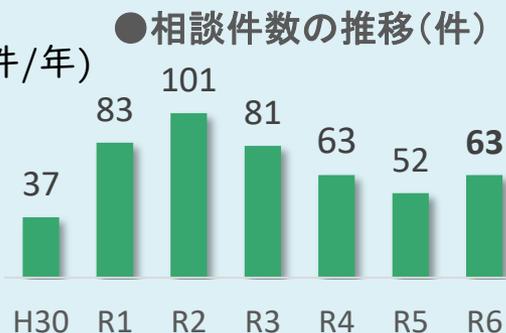
目的 医療連携のため、かかりつけ医と保健師・管理栄養士間の情報共有ツール(H29~)

運用方法 運用開始にあたり、大和市医師会理事会の承認を得て、各医療機関(内科を標榜)へ送付



※医師会理事会で医師へ利用を再周知(R2.10)

- 医療から介護・重症化予防への相談の増加(初年度3件⇒平均60件/年)
- 依頼内容の多様化 生活習慣病が最多だが、「フレイル予防」「若い女性のやせ」の依頼もいただくようになってきた
- 市内全域での定着には課題があるが、いつでも栄養相談を受けられる窓口として活用されている



糖尿病性腎症重症化予防のまとめ

- 対象者に寄り添った栄養相談により、**約8割の血糖や腎機能を維持・改善。**
- 介入により未治療者・治療中断者に対し、KDBデータを活用し、一部、**医療**（治療開始・再開等）**へつなぐこと**ができた。
- 「健康相談連絡票」を通して、医療機関から定期的に栄養指導の依頼あり。**医療機関と連携した**取組みの定着化を図りたい。